

# 令和3年度 第1回 前橋市教育情報システム利活用推進委員会 会議録

日 時 令和3年6月22日（火） 午前10時00分から午前11時30分まで

場 所 第一コミュニティセンター 2階 ホール

出席者

No.	役職	氏名	備考 (利活用推進委員会内役職)
1	前橋市教育委員会 教育長	吉 川 真由美	委員長
2	前橋市教育委員会事務局 教育次長	藤 井 一 幸	副委員長
3	” 指導担当次長	都 所 幸 直	副委員長
4	” 総務課 課長	片 貝 伸 生	委員
5	” 学校教育課 課長	相 原 吉 次	”
6	前橋市未来創造部 情報政策課 課長	岡 田 寿 史	”
7	前橋市小学校校長会 会長 (前橋市立広瀬小学校 校長)	金 井 英 男	”
8	前橋市中学校校長会 会長 (前橋市立東中学校 校長)	庭 山 まゆみ	”
9	前橋市公立学校教頭会 会長 (前橋市立荒牧小学校 教頭)	齊 藤 裕 徳	”
10	群馬大学副学長 (IT・データサイエンス担当) 兼 群馬大学数理データ科学教育研究センター長	浅 尾 高 行	” 外部専門家 オンライン出席
11	前橋市教育委員会事務局 総務課情報教育推進室 室長	黛 正 人	庶務
12	” 係員	竹 内 三 保	”
13	” 係員	上ノ内 栄	”
14	” 係員	清 水 亮 介	”
15	” 係員	吉 井 一 夫	”
16	前橋市教育委員会事務局 前橋高等学校 事務長	高 橋 之 彦	オブザーバー
17	” 総合教育プラザ 館長	金 井 幸 光	”
18	” 総合教育プラザ 館長補佐兼教育研修センター所長	高 橋 志 保	”
19	” 学校教育課 課長補佐兼指導係長	田 村 裕 之	” (業務のため欠席)
20	前橋市未来創造部 情報政策課 情報政策係 教育情報ネットワーク担当係長	大 塚 範 之	”

教 育 長

2019年末にGIGAスクール構想が文科省から発表され、2023年度までの4年間をかけて、環境整備していく予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、2020年度内に日本の全ての学校に学習者用端末を整備することとなり、3年間の前倒しで行われた。学校現場には大きな負担になったと思うが、前橋市では桃瀬小、桂萱中の指定校2校の先行実践を生かし、全ての学校に整備し、学校教育情報化推進計画に沿った活用をさせていただいている。

前橋市における学校教育情報化の考え方は、大きく3つある。

段階ごとに分かれているがまず半年はやらかし期間と捉え、試行錯誤の期間と考えている。子供たちと共に先生方も一歩ずつ前進をしていただく、そのような活用を考えている。

2つ目としては「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた効果的な活用、けっしてタブレットの活用が目的ではなく、便利な学習のツールとして活用を目指している。

3つ目として、前橋市のタブレットの特徴であるLTE端末であるという利点を生かして、自由な活用を児童生徒にしてもらおう。そのために、活用の方法と同時に情報モラル、リテラシー教育も必要である。

子供たちが前橋市の教育の中で多様な人と協働しながら、主体的、創造的に活動する子供を目指して取り組みが行われている。

とりわけ学校教育の情報化については、自らの可能性を広げ、新たな価値を作り出す学びを重点に学校で現在活用をされている。

まだまだ始まったばかりではあるがモデル校ばかりではなく、各学校で学校の状況に応じて、想像していた以上に活用されていると感じている。

今日は今後益々の活用が進んでいくように皆様から貴重なご意見をいただきたい。

## 報告事項(1) GIGAスクール構想の進捗状況について

### ア 授業等における活用状況

情報教育推進室 長

4月に策定した学校教育情報化推進計画における段階では、現在は導入期に当たり、個に応じた学習ツールとしてのICT活用の充実に取り組んでいただいている。

充実期に当たる授業支援システム等の活用による協働的な学習の充実に進み始めている学校もある。

スクリーンに投影し、学校での活用事例等を報告。

### イ 端末の運用状況

資料1：端末の運用状況を元に説明。

桃瀬小で実施したオンライン授業参観の様子とオンライン保護者会の実施結果について報告。

浅尾委員

短い時間ではあったがみなさん工夫され、学校で活用していた。活用する中で何かあれば、相談いただければと思う。

## 検討事項(1) 前橋市教育情報システム利活用推進委員会体制等について

情報教育推進

「資料2：前橋市教育情報システム利活用推進委員会体制(修正案)」

室 長 及び「資料3：前橋市教育情報システム利活用推進委員会設置要綱（一部改正案）」について説明。

前橋市小学校  
校長会会長 一人一台端末が配られ、Googleclassroomの運用については、前倒しとなり、教育委員会には感謝している。学校現場に事前に方向性が示されなかったのが、急な対応に負担を感じる学校も多かったと思う。各校長は保護者や職員、児童のことをよく理解しているので、事前に示していただけると、よりスムーズに進めることができると思うので今後も連携をお願いしたい。

総務課長 方針を前もってお知らせすることができず、申し訳なかった。当初予定していた4月頭よりGoogleworkspaceを使いたいということで準備をしていたが、トラブル等によりGoogleclassroomを使うことができず、急な運用開始となり申し訳なかった。

ご意見いただいたとおり、見通しがきく中で、学校現場と情報共有し進めていきたい。

### 検討事項（2）各部会の今後の検討内容について

情報教育推進  
室長 「資料4：各部会の今後の検討内容について」を基に説明。

前橋市中学校  
校長会会長 充実したICT環境を整備してもらってありがたいと思っている。やらかし期、導入期として、学ぶツールとして使って欲しいとのことなので、先生たちも生徒たちも、とにかく触って使っていくことに重点を置き、3か月行ってきた。

予想以上に先生方はよく使っており、授業を見てもそう感じるが、授業以外でも活用の仕方が広がってきている。

職員は若手で推進チームを作って少人数で研修をしているので抵抗感なく、フラットな関係で進められている。

データ配信について、校長会で話をしており、個人情報の取り扱いのリスク、いろんな先生が発信できてしまうのでセキュリティポリシー、基準を示していただいた方が良いという事が話題となっている。

今まで紙だったので、子どもの顔は鮮明ではなかったが、PDFになると、どうなるか、データを管理職がチェックしていくことになるのかなど、今までも管理職がチェックしていたが、データになると各学級全てデータをチェックしていくことになり、今課題として考えられていることである。

前橋市公立学校  
校教頭会会長 まだツールとして使うよりも使ってみようという状況で、小学1年生に配布されて1か月少しだが、思いのほかしっかり使っていて、アサガオの観察では、タブレットで写真を撮り、撮った画像に初めて習ったひらがなを書いて、オクリンクに送って共有している姿を見て、すごいなと思った。成果が上がっているなど感じている。

課題ということだが、先ほどの学級懇談会ではないが、保護者の方に学校の方でどのように使い方を案内すれば良いのかということが難しいとの話がある。保護者の方に通知を配信するにあたって、テクニカルなご案内の仕方が課題と考えている。

前橋市小学校  
校長会会長

通信を出す際の約束事について、先生方から意見が寄せられている。通信を出す場合に個人名と画像の解像度をどうしたら良いかなど。これについては、ある校長が c 4 t h でこんなチャンネルでやっていると話をしている。Meet の Googleclassroom が出来上がるまで何か月間かあると思うので、急を要するものをどう共有するか、情報共有するシステムを作ってもらいたい。

具体的には本校の課題としては、オクリンクでの担任とのやりとり。これは個人でできてしまうのでルールを作りたいと考えている。学習塾が児童の端末を使って学習する時にどこまで制限をかける必要があるか、など。

このような課題があるので、これをどのように伝え示していくか、運用指針ができるまでの間の何かシステムがあれば良いと思う。

総務課長

様々な課題を出していただき、課題の一つ一つがこれから進めていくうえでの大きな推進力になるのでありがたい。データ配信を学校から家庭へするうえでのルールは、必要なものだと考えている。良い事例をお持ちの学校がありますので、そういった事例を参考にゆくゆくは指針を作りたいと考えている。まずは慣れるところで積極的に活用していただき、そこで出てきた課題を指針として落としこんでいくという作業を進めていきたいと考えている。その期間に問題があったらと心配される気持ちも分かるが導入期でありますので事例を作ってください、設置手続き等考えている。

指導担当次長

情報教育推進室長から YouTube の授業時間の使用について、話があった。こういうことこそ、まさに教育委員会の中で検討するよりも、学校で子供たちに指導している先生方のご意見又は不安そういったものを集約し、定めていく方が良いと思う。

警戒度が上がると、理科室で実験が出来ないと聞いた。そうすると YouTube のような便利な物を使って、授業を充実させていけるはずなのに授業時間内に YouTube が見られない。そういうことを現場では悩んでいたりする。

確かに見られれば良いと思うけれども、心配もあるわけで、休み時間にみんなで授業と関係ないものを YouTube で見ているようなことが起きるかもしれない。

良いことに向かっている一方で、弊害も起きるとなると物事は中々前に進まない。バランスを取っていくためには現場の方のご意見を出していただき、その上でどうすることがみんなが一番納得できることなのかと考えて進めていければと良いと考えている。

今以上に活用が広がっていく中で、現場との意見交換の重要性が高まるのと考えているので、会長さん方々からご意見を頂戴いただければと思っています。

教 育 長

私が学校は大変だろうなと思うのは 3 年間前倒しで G I G A スクール構想が始まってしまったがために、生徒と先生に同時に G I G A スクール構想が始まってしまったということかと思う。先生方がタブレットや PC について十分に使い方等を研究する期間が取れずに四月から生徒と一緒にスタートしてしまった。これは非常に大変なことだったと思う。

国が4月からスタートして欲しいことで、私たちも一生懸命タブレットの配備をし、スタートした訳だけでも、もっともっと先生方に準備をする期間、私達にとってもいろんなことを検討する期間が欲しかったというところだ。

しかしながら4月から始まっているので、なるべく多くのご意見を私たちがしっかりと吸い上げてスピーディに学校のみなさんと検討しながら、実行していくということが必要なのかなと思う。引き続き貴重なご意見をいただきたいと思う。よろしくお願ひしたい。

### (3) 教職員・児童生徒・保護者向けアンケートの実施について

情報教育推進  
室 係 員

資料5：アンケート（案）を基に説明。

現時点での案ということで、ご意見が出れば修正し、教委内でも検討を進めていきたいと思っている。

前橋市中学校  
校長会会長

家でのタブレット活用のところ、本校の様子をお伝えする。ドリルパークを使って家庭で学習するということはほとんどない。今は、オクリンクやムーブノートを使って、前もって先生が課題を出しておいて、家で調べてくるなど。後は振り返りのところで家で友達の意見を見ながら考えてタブレットを使っている。

ほとんどがドリルパークを使うことが前提の項目になっているので、もう少し幅を持たせてもらえるとありがたいと思う。

教 育 長

小学校と中学校で宿題の出し方が違うので、その辺を踏まえたアンケート内容に変えていくと良いと思う。

指 導 次 長

アンケートの項目について、中学校校長会会長からご意見あったように、小中学校だと使っているものも違うので、アンケートは小中は分けた方が良いと思うが、教委で考えている部分に加えて、学校の方からこういうのが必要だからアンケートに入れて欲しいなとか、吸い上げは考えているか。

情報教育推進  
室 長

現時点ではそこまで想定はしていなかった。というのは、内容が多くなりすぎて回答が負担になってしまうことも懸念している。アンケートは非常にデータ収集として、大事な手段として考えているが、一方でフォームに慣れるきっかけとしてのスタートとしたいとの意図もあり、なるべくシンプルに全体傾向を把握するものとして今回は実施をさせていただきたいと考えている。

先ほども室係員が申したが次回については、これもご意見があるかもしれないが学校別の集計もできるようにする予定である。公表する訳ではないが状況把握という形では、学校自体のご自身の学校の状況を抜き取って知りたいという面もあるかもしれないので、次回はそういった風にしていきたい。代わりに今回は簡略化を考えている。

教 育 長

一斉にタブレットでアンケートを取るということは中々チャレンジなことだと思うので、アンケート内容ももちろんのこと、一斉にアンケートを取るトライアルとして捉えて欲しいとのことである。

情報政策課長

アンケートについては、今回最初だとのことなので、できれば作り込ん

でアンケートを取るのに労力がかかるという取り組みをされるよりは、今こんな主体的な話題があるのだけれども、それに対してデータで意見を取りたいなどに使えると良い。作り方を共有して、Google フォームを使って、ちょっとした意見収集、大がかりなことをしなくても、紙で集計が大変とかにならず、簡単に集計結果を出すことができるので、ぜひ、ちょこまか使えるようなツールとして使うと風通しが良くなって良いかと思う。今後の参考にしやすいのかなと。

今ひっかかっていることは個人情報の掲載について、PDF だと解像度を落として、もう一回 PDF に印刷するとしてあげると、全体的に解像度が簡単に落ちる。学校からの問が我々に分からないので、うまくいっていると思っていたが、そういうのも Google フォームではないが、何か相応しいのがあれば、例えば、LTE が遅いと言うのは事業者の方もサーバーが遅いことも認識していて、パブリッククラウドというもっと大きな安い環境の方に今移行していて、コストをちゃんとかければ、ステップアップできるという環境に移行されているはずだ。我々はそういう報告をもらっているので学校さんの方は全然心配いらないと思っているが、時間帯によってはオクリンクが送れないとかみんなでするとオクリンクが送れないからやめようとか、すぐに何月何日の何時に使えなかったと分かると、LTE が細かったのかそれとも事業者側の環境が全国一斉使われている GIGA スクール構想なので、それでもスケールアップしないといけないうのか分からない。フォームの作り方を公開するような感じでデータからの声をこういうところに入れてもらえると、情報部門で活用する部分があっても見られれば中で事業者の方へ展開するもしくは LTE だったらドコモに電波調査をかけるということもできる。それが今回 LTE にした理由であり、事業者の自助努力で環境を整えていただける。情報をあげていただけると動く元になる。

教 育 長

アンケートをすることだけが目的ではなく、情報共有するためのツールとして使いやすく使っていければなと思っている。

浅 尾 委 員

いろいろな問題があって、インフラの問題もあるが、やはり情報をどう使うかということなので、情報をうまく集めるということも大事であるし、いろんな人と共有することも大事だと思う。

みんなで議論して新しいものを作っていく視点そのものが生かしていくことが学びの内容になっていくので、ぜひこれは、この視点を含めてシステムを作ると言うよりは、むしろ、こどもたちを含めて、先生も含めて、一緒に物を作っていくという体制、認識を持っていただくことがとても大切なことと思いますので、ぜひアンケートを詰めて進めていただきたいと考えている。

前橋市小学校  
校長会 会長

各学校長が困っていることについては、個別対応で情教育推進室や情報政策課へ問い合わせてもらおう形であるが、同じようなことを感じている校長がいるかもしれないから、個別に回答してもらったものを共有化する、よろしければ、これで進めていければと思う。

例えば、画像の扱いについて、質問されて、「私のところでは個別の情報を出していない。こどもの映る画像は 10 キロバイト位に落としてアップしている。」と言う説明をするけれど、それが正しいかどうか自信がないので、どういった風に進めていけばいいか、いろんな質問があるのだけ

れども、個別の対応でやっていくよりも共有化をした良いと考える。

総務課長

情報をどうやって現場と教育委員会事務局と共有化していくかというところが基本になっていくかと思う。個別対応が良いのかということについては、まずは目の前にある事象を何とかしなければいけないと思うので、個別に対応していただいたことについて、我々の方で全体に共有化する形で進めていきたいと考えている。課題を解決することが最重要であるので、その課題を解決しながら、ノウハウを広めていくというステップでいきたいと考えている。その上で、今後情報共有をどのようにしていくか、システム利活用推進委員会の部会が開催されるが、そこに情報が上がって行って、吸い上げていき、そこで議論し、解決していくということが想定されるので、そこに対する現場からの吸い上げは、どのようなものが有効であるか、具体的に検討していきたいと思っている。今 ICT 広場が C4th 上にあるがそれも一つの方法であるし、また部会を開催していく中で、さらにどのように情報を収集していくか、集約、検討のスキームができるか、今答えは見つからないが、やっていくので個別の事象については、情報政策課、情報教育推進室にあげていただき、それで解決したら、それを広めていきたい。

指導担当次長

それぞれの学校長の方から、校長会長の元へ日々いろんな問い合わせがあり、日々大変かと思う。窓口になっていただくと今度は会長が対応を迫られ、非常に忙しい思いをしてしまうと思う。

どんなふうに情報を収集し共有していけば良いかということになるが、例えば C4th の広場は教員の方は質問する場面が多いので、そこに校長先生方は質問ですと聞くのは非常に厳しいかと思う。校長先生の部屋を作ってもらえるのであれば、スピーディに情報のやりとりができると思う。

情報教育推進室長

会議室として設けることは可能であり、意見をいただいて、実現はできるかと思う。

指導担当次長

そういうやり方で良ければ検討いただければと思う。

教育長

ICT 広場は私もときどき見させていただいているが私もコメントがしづらいなと思うことがある。校長先生方お一人お一人が課題を抱えられ、情報教育推進室へ問い合わせをしていただきたいがお一人の先生が悩まれていることはたぶん他の校長先生も悩まれていることでお一人に対して返答を返すよりもご質問を会議室などの場所にあげていただき、そこへ情報教育推進室がお返しして、みなさまのいろんな経験を重ねていただくことが良いのかなと。会議室などを加えていただき、校長先生方が情報を共有する場を設けていただくことを検討いただければと思う。

## 5 意見交換

前橋市小学校校長会会長

本校の職員は非常に楽しく、機会と捉え、研修を行っている。先日アクセスポイントの設置工事が行われたがその後に OK した後にダウンしてしまった。今後土日の対応などお金のかかることではあるが検討していた

だけると月曜の授業がスムーズに進められるので、そういったことも大事だと思う。全体的には感謝している。

前橋市中学校  
校長会会長

私も感謝している。これだけ短期間でタブレットが進行するとは思ってなかったが、いつも机の中であって、すぐ出せるとかズームを使うとかタブレットが日常に使えるようになって良いなと感じている。他市町村の話を知ると、なかなか使えないし、持ち帰りもできない。やらかし期、試行錯誤ということで自由に使わせていただいて良かったと思っている。

各校長からいろいろ問い合わせがあるので、今日の話を知り、そういった形を作ってもらえるとありがたいと思っている。

先生方の研修に関しては、今も3、4時位の時間帯の研修を紹介していただき、先生方もそれを見ながらスキルを高めたいと思っているようなので、ぜひ研修の機会を持っていただきたいのと、研修を進める上で、教師用タブレットと子供たちが使っている iPad が違うので、それがやりづらいところではある。お金関係で難しいとは思いますが先生も使う iPad があると良いなというのが現場の声である。スケジュールが非常に厳しい1学期だったが、少しずつ慣れて校務が楽になって業務改善に繋がっていくのかなと期待している。

前橋市公立学  
校教頭会会長

今まで中々授業で活躍できなかった子供たちや特別な支援が必要だった子供達が、iPad が入ったことによって、活躍の場が増えて、また自己有用感が上がって、担任のみなさんも iPad に対して可能性を感じていて、これからどんな教育活動を展開できるかなと、かなりモチベーションが上がっている。GIGA スクール構想の推進にあたって、一番ひっかかっていたのは、苦手意識がある教員、スタッフたちのモチベーションをどう上げたら良いのかなということだった。教育長さんに言っていただいたやらかし期間という言葉がどれだけ苦手意識を持っているスタッフの心を溶かしたか、ほんとに大きかったと感じている。

私も相談された時に教育長さんも言っているでしょと言ってあげると、スタッフから頑張ってみますと言葉を聞き、本当に私もありがたかった。やってみようというモチベーションをスタッフが上げることができた。

昨日もヘルプデスクに電話し、Google アカウントには入れないと思ったら良いかなど、そういった電話をした際に、どこに相談してもホスピタリティ溢れる温かい対応をしてくれる。ICT はクールなイメージがあるが市教委も市長部局もいやな顔をせず、温かく対応してくれる。温もりのある支援をされているので大変助かっている。引き続きスピード感をもって、学校現場としても、教頭会としても対応していきたいと思うので、引き続き支援をお願いしたい。

総合教育プラ  
ザ館長

研修の実施をありがたいと言ってくくださり、こちらこそありがたいという認識でいる。現場の先生に少しでもお役に立てればとの気持ちで教育研修センターの方も一生懸命研修の企画を考えている。もし、こんな風にやっていただくとありがたいなど、遠慮なく言っていただきたい。先生方の役に立てるような研修をやりたいと思っているので、よろしくをお願いしたい。



教 育 長	<p>学校現場が気持ち良く使っていただけるにはどうすれば良いのだろうとの思いでいっぱい、情報政策課、総務課の情報教育推進室の皆もこれからもしっかりとサポートさせていただきたいと思う。</p>
浅 尾 委 員	<p>先導するリーダーの先生が大事だと前年度の委員会で言わせていただいたのだが、教育長を始め、校長先生方々の、進路際の困っている教員、生徒をリードするような、建設的でリーダーシップを発揮していることに非常に感心した。</p> <p>ぜひ子供たちのために新しい教育方法を、それから、世界から遅れを取っている ICT の部門を推進していくような生徒たちを輩出するのではないかと期待をしている。今日聞かせていただき心強く思った。ぜひ継続して前橋市の取組が日本の中で、世界で素晴らしいと言われるようにぜひ頑張らせていただきたいと思う。群馬大学としても支援していきたいと思っている。</p>
学校教育課長	<p>ご意見をいただき感謝を申し上げます。3つの部会はこれから7月、8月に行われるということで、現場の声が聞ける良いチャンスかなと思う。その意見を大事にしながら学校現場と教育委員会で ICT が良く活用となるような、子供のためになるようなものを目指しながら進められればと思うので、学校が使えるタブレットにしていきたいと思っている。よろしくお願ひしたい。</p>
指導担当次長	<p>昨日までの議会の中でタブレットの活用について、ご質問をいただいた。それぞれの学校での様子を説明させていただいているが、その中でまだまだと感じられている方もおられるのだなと思っている。</p> <p>一番あってはならないのは学校間の格差が起きてしまうのはいけないと思っている。1人1台のタブレットを手にした子供たちは同じ恩恵を受けるべきだと思っている。</p> <p>今後も情報教育推進室、そして教育研修センター、指導係、直接現場に関わっていくみなさんがさらに学校を支援していけるように、こちら現場の声を聞きながら、サポート体制を整えていけたらと思っている。引き続きよろしくお願ひしたい。</p>
教 育 次 長	<p>議会の総括質問があったところだが、議員の方も GIGA スクール構想、タブレットの活用非常に感心を持たれていた。学校でも活用だけでなく、家庭での活用、地域での活用についても質問をいただいた。校長先生、教頭先生からお話のあったとおり、現場の困っていることを教育委員会、市長部局にあげていただいた中で、議会も市長も非常に大変関心を持っている GIGA スクール構想であるので、良いものにスタートしていければと思っている。連携して運用していければ良いと思っているので、些細なことでも結構なので、教育委員会、情報政策課へあげていただければと思っている。</p>
教 育 長	<p>先日伺った中学校に話を聞いたところ、幅跳びの授業でタブレットを使ったとのことだった。まず好きなように跳び、続いて、タブレットで撮り、映像を見た。そこで先生が映像を見て指導をし、もう一度飛んでみた。するとタブレットで指導する前と後の跳躍を比べると後の距離が伸</p>

びていたということがあった。

子供の成長はどんな時に感じられるかというと、何か感動した時に成長するのだと思う。できた、分かったとか。そこにタブレットが少しでも役に立っていれば良いのではないかと思う。

本日は現場の声を吸い上げるためにどうすれば良いか、情報共有するためにはどうしたら良いかとたくさんのご意見をいただいた。学校現場がストレスを感じずに十分に活用していけるように私たちも知恵を絞ってまいりたいと思う。今後とも委員の皆様にはご指導いただきたいと思う。

(午前 11 時 25 分)